

資料4 民間金融機関の農業経営アドバイザーの活動事例

活動事例1

アドバイザーの相互連携・販路拡大支援

- 税理士アドバイザーと連携して農業法人の経営改善を支援
- 商談会や個別マッチングにより農業者の販路拡大を支援

アドバイザーとしての取組内容

①関係団体とのネットワーク

6次産業化プランナーと連携し、県内4事業者の6次産業化認定計画の作成を支援。

②アドバイザーの相互連携

酪農を営む農業法人から経営相談を受けた。農業経営アドバイザーである同法人の顧問税理士と連携して経営課題を洗い出し、有利子負債の圧縮など改善提案を行った。

③スキルアップ勉強会

県内JAの農業経営アドバイザーで組織する集合研修に参加し、決算書を活用した経営分析、資金需要の目利き、計画書の作成等を学びスキルアップに努めた。

④販路開拓支援

野菜生産を営む農業法人から販路拡大について相談があったため、銀行主催の個別商談会への参加を提案。高級感ある商品は首都圏のホテル等からの引き合いも多く販路拡大に繋がった。

⑤6次産業化支援

県産米にこだわった酒造りに取組む酒造業者と、こだわりの米作りを行う農業法人を引合せ。酒造工場に販売施設を併設し、新たな商品開発を手掛け販売。地域活性化に繋がっている。

アドバイザーとしての役割

- 生産者・実需者・流通事業者・行政・関連団体を結ぶハブ機能として役割を果たすことが、アドバイザーに求められる役割の一つ。

活動事例2

事業性評価の実施

- 大規模投資に対し、プロジェクトチームを組成し事業性評価を実施
- 複数の金融機関による協調融資で支援

対応案件

【顧客概要・背景】

- ・ 野菜生産を行う法人が規模拡大を計画
- ・ 雇用確保が難しく省力化が必須
- ・ 先端技術導入等投資額が大きい

【相談内容】

規模拡大のための施設整備に係る借入相談

②プロジェクトチームの検討を主導

プロジェクトチームを主導して幾度となく立案・事業計画の検証を実施

③事業計画の策定

検証の結果、事業規模の一部を見直して事業計画を策定し、プロジェクトチームで合意

アドバイザーとしての取組内容

①プロジェクトチーム組成を提案

当社、先端技術に詳しい研究機関、協調融資が可能な複数の民間金融機関を交えて事業計画を検証するためのプロジェクトチーム組成

支援後の状況

- 事業計画に基づき事業を実施
- プロジェクトチームに参加した複数の金融機関による協調融資で支援

活動事例3

農業参入支援

- 農業に新規参入する法人に対し、参入のためのアドバイスを実施
- 事業譲受けに必要な資金を協調融資で支援

対応案件

【顧客概要・背景】

- ・ 農機具販売・修理を行う法人
- ・ 離農等による市場縮小に対応するため農業参入を目論む
- ・ 高齢化により離農する農業者の経営を譲受け

【相談内容】

農業経営を譲り受けるための融資と販路確保の相談

アドバイザーとしての取組内容

① 農業経営開始にあたっての助言

農業参入等に係る行政の許認可手続きに関する助言

② 開始当初のリスク軽減のためのアドバイス

米の作付に関し、主食米以外に販売契約を締結し補助率の高い飼料用米の割合を多くすることを提案

③ 関係機関との調整

事業費が多額になることから、複数の金融機関に連携を呼びかけ

支援後の状況

- 複数の金融機関による協調融資を受け、事業を実施
- JAと主食米のほか新たに飼料米の取引を開始